

日本歯科インプラント器材協議会創立20周年記念誌

JAPAN ASSOCIATION OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS 20th ANNIVERSARY

これまでの軌跡、
未来につなげるビジョン

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会

創立20周年記念誌

一般社団法人 日本歯科インプラント器材協議会



JAPAN ASSOCIATION OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS 20TH ANNIVERSARY

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会

創立20周年記念誌



JADIS 会長

廣瀬 英一

20周年記念誌発刊に寄せて

一般社団法人日本歯科インプラント器材協議会(JADIS)は、前身となる任意団体としての創立以来、20周年を迎えることができました。

これまでJADISの発展にご尽力された歴代会長をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

20周年を迎えるにあたり、記念誌の発行を企画したところ、多くの皆様方のご賛同、ご協力をいただき、すばらしい記念誌を発刊することができました。この記念誌はJADISとしてはじめて発刊するもので、本会の今後の発展のための貴重な資料となることを確信いたしております。今回の記念誌の発刊を機に、これまでのおよそ20年間の歯科インプラントをめぐるさまざまな出来事、それにかかわるJADISの活動の歴史を写真や文章で振り返るとともに、歯科インプラント業界の健全かつ更なる発展のために、加盟企業はもとより、関連学会や業界団体の皆様方との協調を、より一層図ってまいりたいと考えております。

記念誌発刊に際しましては多くの皆様の多大なご支援とご協力を賜り、特にご多忙中にもかかわらず、玉稿をお寄せいただいた皆様及び編集に携わってくださった皆様に対し、心より感謝申し上げます。

日本歯科インプラント器材協議会創立20周年記念誌

JAPAN ASSOCIATION OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS 20th ANNIVERSARY

これまでの軌跡、
未来につなげるビジョン

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会

創立20周年記念誌

一般社団法人 日本歯科インプラント器材協議会



創立20周年
を祝してJADIS 初代会長
高尾 親久

JADISが2002年に創立して早や20周年を迎えることとなり感無量です。思い返せば当時僅か業界100億の市場に30数社が入り乱れて、公正取引協議会より「最近特に歯科用インプラントの販売における公正競争規約抵触の疑義が多発している」と指摘されるほど加熱状況を呈していました。このような過当競争を避け、原点である「患者への正しい情報提供と啓蒙活動を通じて市場拡大を図る」ことが何よりも重要であることを認識し、2002年に数社の理解と協力のもとに協議会が発足するに到りました。当初はライバル同士ですので例会の雰囲気もギクシャクしたものでしたが、会を重ねるごとにコミュニケーションも深まり、お互いに積極的な情報交換を行えるようになりました。

そして2005年4月の薬事法大改正時はインプラントの薬事承認基準作成に関する業界意見を反映させる唯一の団体として極めて重要な存在になったばかりでなく、会員同士のより強い連帯感を高める良いきっかけともなりました。私は2007年に会長職を辞しましたが、以降2016年には一般社団法人として生まれ変わり「インプラント業界の健全な発展に努める」という創立趣旨に沿った団体活動が今日まで引き継がれていることをお聞きし、万感の思いがいたします。

創立20周年へ
のご挨拶JADIS 2代目会長
嵯峨 親幸

歯科インプラント器材協議会創立20周年をお迎えの由、まことに喜ばしく謹んでお祝いを申し上げます。思い返せば、創立時インプラント業界も公正取引規約に違反する会社も多く、将来のインプラント業界の発展を考えると、協議会設立の要望が出てまいりました。

2002年10月18日に横浜でのワールドデンタルショー開催日、会場隣のインターコンチネンタルホテルで日本歯科インプラント器材協議会発足会が開催されました。当初、主旨に賛同いただいた10社でスタートしたと記憶しております。会長職は高尾様、そして私が副会長を拝命し、その後二代目会長、顧問を歴任させていただいた後、退任いたしました。2011年2月までには9社が新たにご参加いただき、加盟会社は19社となりました。

こうして創立20周年を迎えることができたのも、加盟各社皆様のご尽力の賜物と拝察いたします。これを機にますますのご発展を遂げられますよう、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
理事長 細川 隆司

創立20周年を心よりお祝い申し上げます

この度、一般社団法人日本歯科インプラント器材協議会(JADIS)が創立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

JADISは、優れた歯科インプラントおよび関連機器・サービスの提供に加え、様々な情報提供を通じて、業界の健全な発展を目指すとともに、インプラント治療の啓発に努め、健康長寿社会の実現に寄与することを目的に2002年に任意団体として設立されました。その後、2016年に一般社団法人として法人格を取得され、歯科インプラントに関する唯一の業界団体として多くの重要な役割を果たして来られました。とくに、当学会との連携においては、学術大会における連携、協力だけでなくセミナーやシンポジウムなどの共催など学術団体と業界団体がお互いに協働して健康長寿社会の実現に向けて邁進できたことは、極めて高く評価されるべきものと言えます。

近年、歯科のデジタル化が急速に進み、あらゆるモノがデジタルデータとしてやり取りされ、世界がネットで24時間繋がっているボーダーレスの時代に入ったことにより、これまでの法令ではカバーしきれない様々な問題が出てきています。そのような環境の中で、JADISと我々日本口腔インプラント学会の連携は、臨床医にとって、さらには国民にとって益々重要度を増してきているのは間違いありません。

ここに創立20周年を迎えられるにあたり、初代会長の高尾親久氏をはじめとする歴代会長諸氏のこれまでのご尽力に深く敬意を表するとともに、貴協議会のさらなるご発展を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。



公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会
理事長 嶋田 淳

創立20周年を祝して

この度、貴協議会の創立20周年に際し、これまでのインプラント治療の安全性確立のための活動に敬意を表し、感謝とお祝いの詞を述べさせていただきます。

私がインプラント治療に取り組み始めたのは1986年で、我が国の骨結合型インプラントの黎明期にあたります。当時はまだインプラント治療に関する理解が不十分で大学や歯科界の抵抗も強かった時代です。その後インプラント治療の有益性が実証評価され、21世紀に入った頃からインプラント治療を行う医療機関と症例数が爆発的に増えて来たと記憶しております。JADISが発足したのもその頃で、インプラント治療に対する教育の遅れと情報不足に加え、収益優先の治療先行の風潮や一部のトラブルがクローズアップされ、この傾向に社会的にも厳しい評価を受けるに至り、インプラント関連の学術団体、関係業界がともに危機感を抱いた実情もありました。

JADISはインプラント及び関連器材の安全性を最優先に考え、法令を遵守し患者さんの理解促進に努め、インプラント治療を通じて患者さんのQOL向上に役立つ活動を通じて社会に貢献してゆく旨、目標を挙げています。関連製品の情報提供のみならず、新製品器材の早期承認にも尽力を戴き感謝しております。

インプラント治療は近年デジタル技術を駆使した診断機材や治療技術、材料が普及し急速に発展進化しています。歯科医師と患者を繋ぐ架け橋には正確な治療機器材料に関する知識と理解が必要で、この架け橋をより迅速安全かつ強固にして戴く活動を貴協議会に期待いたします。



一般社団法人 日本歯科商工協会
会長 中尾 潔貴

創立20周年に寄せて

この度は一般社団法人日本歯科インプラント器材協議会創立20周年、誠にありがとうございます。一般社団法人日本歯科商工協会を代表し、心よりお祝い申し上げます。

貴協議会が発足された2002年当時、インプラント器材を扱う任意団体として、ある意味“手探り”状態で活動されたと苦労話を聞き及んでおりますが、現在では、コンプライアンス遵守やインプラント器材の安全性確保に尽力され、健康長寿社会の実現に向けて多大なる貢献をされていらっしゃいます。

その一方で、週刊誌などでインプラント治療に関わるトラブルが多く報道された際には、貴協議会が中心となって加盟各社をまとめ、関連する学会、団体、臨床家の先生方との協力の下、優れたインプラント器材の提供と正しい情報提供を通じて、信頼回復に努められたことは記憶に新しいところです。

20世紀までは“特別な外科治療”だったインプラント治療も、現在では“通常の補綴治療”として認知されるまで発展、普及しました。これからの「日本国民の皆様の口腔健康向上」に欠かすことのできない補綴方法としてのインプラント治療の発展と、それを支える貴協議会の活動と貢献に大いに期待し、祝辞とさせていただきます。

GOAL

より多くの人々が、インプラント治療を享受でき、
QOLの向上を得ることができる

VISION

2030年に向けたJADISのビジョン

- ▶ インプラント治療の価値を高める
- ▶ インプラント治療の健康長寿社会への貢献
- ▶ インプラント治療の認知度を高める

STRATEGY

ビジョンを達成するための戦略

- ## 1. Positioning
- 業界の中での位置付を高める
 - 行政とのコミュニケーション
 - 団体としての成長
- ## 2. Cooperation
- 関連学会・大学・団体との連携
- ## 3. Awareness - Raising
- インプラント治療の啓発・普及活動
 - メディアセミナー
 - ウェブサイト
 - アートコンテスト

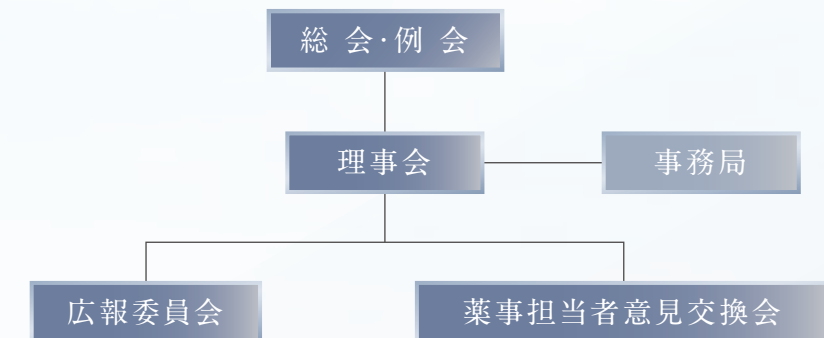
JADISについて

- 目 的** 会員相互の資質の向上研鑽と親睦と理解を深めることによって、歯科インプラント器材業界の健全な発展を図るとともに、優れた歯科インプラント器材の提供及び情報提供を通じて、歯科インプラント治療の啓発普及に努め、もって健康長寿社会の実現に寄与する。

- **事業内容**

 1. 歯科インプラント治療に関する情報提供
 2. 歯科インプラント器材の法規制に関する調査、研究
 3. 会員の知識向上を図るための研修
 4. 法令及び行政指導の周知徹底
 5. 行政及び関連団体との連絡協調
 6. 会員相互の親睦を図る事業

■ 組織図



■ 役員構成

会 長	廣瀬 英一（株式会社プラトンジャパン）
副会長	栗村 公男（ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社）
専務理事	中島 賢 （大信貿易株式会社）
渉外担当理事	吉本 龍一（株式会社松風）
広報担当理事	谷田 浩志（和田精密齒研株式会社）
会計担当理事	山浦 元裕（株式会社YDM）
相談役	黒田 和彦（株式会社アルタデント）
監 事	三栗 慎史（株式会社ニッシン）

※2022年7月現在

■ 加盟企業 23社(2022年8月1日現在)



歴代会長・就任期間



初代

高尾 親久

たかお・ちかひさ

日本歯科インプラント器材協議会会長
2002年11月－2007年4月



第2代

嵯峨 親幸

さが・ちかゆき

日本歯科インプラント器材協議会会長
2007年4月－2009年4月



第3代

黒田 和彦

くろだ・かずひこ

日本歯科インプラント器材協議会会長
2009年4月－2015年4月



第4代

田岡 隆久

たおか・たかひさ

日本歯科インプラント器材協議会会長
2015年4月－2016年5月
一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会会長
2016年6月－2018年6月



第5代

井上 和典

いのうえ・かずのり

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会会長
2018年6月－2021年8月



第6代

廣瀬 英一

ひろせ・えいいち

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会会長
2021年9月－

TOPICS

JADISロゴマーク変更の経緯と込められた思い

JADISのロゴマークは、最初から現在の形だったわけではありません。
創立時のロゴマークは円形で、英語表記は“JAPAN COMMITTEE OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS”
となっていました。当初10社だった加盟企業は、2011年には19社となり、関連学会・団体との連携、協力など活動
範囲も広がってきました。同時に団体としての認知を高めていくための広告の機会も増えてきましたが、広告スペース
に制約がある場合、ロゴを小さく配置すると文字が読みづらく、英語表記の省略“J.C.D.I.S”も長すぎて覚えづらい
などの意見もあり、双方を一新することとなりました。
新しい英語表記は、さまざまな意見交換の機会を経て2011年6月、“JAPAN ASSOCIATION OF DENTAL
IMPLANT SUPPLIERS”、略して“JADIS”（ジャディス）という名称に決まりました。その後、加盟企業からデザイン案
を募り、複数の候補の中から現在のロゴが生まれました。

ロゴマークには、日本の歯科インプラント業界の健全な発展と関連学会・団体との協調を図り、歯科インプラントの
可能性を最大限に生かして新しい価値を創造し、社会に貢献する意味合いが込められています。
コーポレートカラーは、チタンをイメージするシルバーグレーで表されています。グレーの力強さ、どんな色ともマッチする
変化への柔軟性、新たなスキームへのチャレンジの意味合いも込められています。サブカラーとして、インプラントの頭
文字「i」は、信頼と未来をそれぞれ表すブルーと、グリーンでイメージ化されています。

■ 創立時のロゴマーク



英語表記：
JAPAN COMMITTEE OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS

■ 2011年6月変更のロゴマーク（現行）



英語表記：
JAPAN ASSOCIATION OF DENTAL IMPLANT SUPPLIERS

Contents

ご挨拶
JADIS会長 廣瀬 英一 03

祝辞
JADIS初代会長 高尾 親久 04
JADIS2代目会長 嵯峨 親幸 04
公益社団法人 日本口腔インプラント学会 理事長 細川 隆司 05
公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会 理事長 嶋田 淳 06
一般社団法人 日本歯科商工協会 会長 中尾 潔貴 07

JADISビジョン 08

JADISについて 09

歴代会長 就任期間 10

TOPICS ～JADISロゴマーク変更の経緯と込められた思い～ 11

JADIS創立20周年記念座談会 13
「歴代会長が語る2030年に向けたJADISのビジョン」

加盟企業紹介 18

JADISの足跡～写真から振り返るJADIS20年の歩み～ 22

第7回日本歯科インプラント器材協議会 総会 26

日本歯科インプラント器材協議会 創立20周年祝賀会 28

年表で振り返るJADIS20年の歩み
2002～2007 30
2008～2011 32
2012～2016 34
2017～2022 36

JADISの主な活動実績
① 葉事担当者意見交換会 38
② 広報委員会 40
③ インプラント業界データとともに振り返る 42
④ メディア掲載 43

記念誌編集を終えて
JADIS専務理事 中島 賢 45

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会

創立20周年記念座談会

20th
ANNIVERSARY



歴代会長が語る
2030年に向けたJADISのビジョン

2002年に発足し、今年で創立20周年を迎えた日本歯科インプラント器材協議会（JADIS）。創立までの経緯や法人化の実現、さらには幾度となく直面した苦難、そして「JADISビジョン」策定や将来を見据えた展望について、4名の歴代会長に大いに語っていただきました。

日時 2021年12月17日（金）

会場 赤坂インターシティ AIR



廣瀬 英一

JADIS 発足の経緯

廣瀬 最初に、JADIS 創立当時から関わって来られた田岡元会長から創立の経緯やその当時の背景についてお聞かせください。

田岡 日本歯科用品輸入協会（以下「輸入協会」）の会合の歓談の席で、インプラントの業界団体の立ち上げについてはたびたび話題にあがっていました。きっかけは、2001 年 12 月に岩手県花巻市で開催された年末の会での（株）ヨシダの 山中一郎社長（当時）からの呼び掛けだったと記憶しています。当時インプラントを取り扱う企業が集まり、創立に向けた具体的な取組が加速度的に進み、翌 2002 年 10 月に 10 社で発足することになりました。

黒田 その頃ちょうど改正薬事法（現薬機法：以下「薬機法」）が施行される前で「キチッとした業界団体をつくって対応すべきではないか」ということで、その時に山中さんが



黒田 和彦

インプラント取り扱い企業を集めてお話されたということだったと記憶しています。

井上 輸入協会で山中さんにお会いした時にも同じようにお話をしていました。「直販メーカーも多いし、無法地帯になっていてこのままでは大変だ」「薬機法の問題も含めてきちんと整理していく必要がある」といったことも背景にあったと聞いています。

黒田 当時は薬機法もどういう形で落ち着くか分からなかった時期で「協会に加入していないと情報が入ってこない」という状態でした。私が代表をつとめる（株）アルタデントも発足当初こそ未加入でしたが、翌年 2 月に加入して以来、常に JADIS と活動をともにしてきました。

廣瀬 実は 3 代目会長の黒田さんの任期がもっとも激動の時代だったのではないのでしょうか（苦笑）。「インプラント使い回し事件」や、NHK の『クローズアップ現代』では「歯科インプラントトラブル急増の理由」（2012 年 1 月）が放送されたり、本当にいろんな問題がこの時期に連続して起こりました。

黒田 初代の高尾会長が 2 期務められて、その後を引き継いだ 2 代目会長の嵯峨さんから「黒ちゃん、次はよろしくね」と言われて軽い気持ちで考えていたら、いざ引き受けてみると大変でした（笑）。最初に薬機法が改正されてすぐに承認基準をつくらないといけない。あの頃はたしか歯科の「承認・認証基準」は、そのほとんどが「認証」でした。

廣瀬 歯科用医療機器の多くがクラスⅡですからね。

黒田 クラスⅢはインプラントくらいでした。だから日本歯科材料工業協同組合（以下「材料組合」）のインプラントワーキングの皆さんと、私たち JADIS でやるしかなくて、薬事委員会や薬事担当者意見交換会をつくって承認基準に取り組んでき

ました。あの時期は本当に大変でした。

廣瀬 たしか数年かけてのプロジェクトだったと記憶しています。

井上 現在の JADIS の根幹をまさにその時代につくっていただいたといっても過言ではないですね。

田岡 今思い出しても本当に激動の時代でした。

黒田 その後、今度はインプラントの保険収載の話が持ち上がりました。しかし、インプラント治療がすべて保険適用となると何かと大変ですし、質の低下にも繋がりがねないので、そのあたりはとても苦しかったです。なにしろ直接厚労省に出向いて保険局医療課や医政局経済課の方々からヒアリングを受けるというのは初めての経験でしたから。

田岡 基準をつくるにあたって高度先進医療の境目になるものとか、先天性疾患のものとか、事故による歯の欠損とか、その線引きについて議論になりましたよね。

黒田 臨床を行う先生方のご迷惑にならない方向で、且つリーズナブルな選択肢を求めている患者さんには保険で治療できるように、という落としどころが非常に難しかったです。**井上** その話が持ち上がってから実際の保険導入までどの程度の時間を要したのでしょうか。

黒田 たしか 1 年もかかっていないと思います。

井上 そんなスピーディに！それはひとえに JADIS の存在が認められた証とも言えるのでしょうか。

黒田 保険収載については業界団体というより個々のメーカーの問題になります。するかしないかは結局個々のメーカーが申請しないといけませんから……。JADIS の役割はその取りまとめを行うことでした。

「一般社団法人化」実現に向けて

廣瀬 そうした課題がようやく落ち着きを見せた頃、4 代目の田岡会長

へとバトンタッチされました。田岡会長時代の大きなトピックとしては「一般社団法人化」の実現がありました。

田岡 加盟企業どうしの繋がりはもちろん、会の外から見た場合も「より良い形にできれば」ということで提案させていただきました。

黒田 法人化については、前職で行政書士を経験され、その道のプロフェッショナルでもあった廣瀬さんの存在なくして実現できなかったと思います。

廣瀬 提案いただいた翌年には法人化を実現することができました。前職での経験が役に立って良かったと感じています。

井上 法人化にはどういった背景があったのでしょうか。

田岡 当時はインプラントに対するネガティブ報道が続き、経済誌をはじめ NHK など様々なメディアへの対応がとても大変でした。そこでそうした対応を私たちだけで行うのではなく、日本口腔インプラント学会（以下「JSOI」）と当時学会の渡邊理事長、矢島理事、日本歯科医師会の専務理事の方も交えて対応することがありました。その際にも、やはり任意の団体と一般社団法人と



インプラント治療の啓発ポスターを広く全国から公募した「アートコンテスト」の様子。

は対外的な見え方が大きく違いますよね。

黒田 組織的にきちっと整備したいということが大きな目的でした。

井上 社会としての信用であり、価値ということですね。JSOI と JADIS との関係性も黒田会長の時代からより深くなっていったのではないのでしょうか。個人的には JSOI とのコミュニケーションがとてもうまく取れていると感じていました。

黒田 札幌での学会で JSOI と JADIS の理事どうしで話し合いの場を持ったのが最初のきっかけだったと思います。

競合他社どうしが協力しあえるフィールドを模索

田岡 2012 年には『クローズアップ現代』の TV 放送がありましたが、教育の問題となると、どうしても学会や歯科医師会がかかわってきます。そこで「学会や歯科医師会との関係をうまく会として繋げてメッセージを出していきたい」ということで「メディアセミナー」も開催していただきました。

黒田 そうでしたね。

田岡 私たちからも積極的に情報発信していこうということでメディアセミナーを記事に取り上げてもらったり、インプラント治療の啓発ポスターを全国から公募して、それを普及させていく「アートコンテスト」も企画しました。審査員は JSOI の相浦専務理事（当時）、審査委員長を東京芸術大学の教授にお願いしました。最終的に 250 点を超える応募があり、加盟企業も投票に参加しました。あの時はとても盛り上がりましたね。

黒田 初代会長の高尾さんと 2 代目の嵯峨さんがこの場にいらっしゃらないので代弁すると、当時はライバル企業どうしお互いの距離感がわからないこともあってギクシャクしていました。その時に高尾さんによる「みんなで協力しあえるテーマはな



田岡 隆久

んだろう」という投げかけから浮かんできたのは、一つは薬事関係、もう一つはインプラントを正しく普及させる啓蒙活動でした。この 2 つについてはライバル企業どうしでも協力しあえるのではないかと、いうことで「薬事担当者意見交換会」が立ち上がったたり、広報委員会の前身として「ホームページ委員会」もできて、「JADIS のホームページを制作しよう」という話になって、そこからより良い協力関係が生まれていったわけです。

井上 ちょうどインターネットの普及が加速している頃でしたね。ホームページには大学の先生による講演がアップされていますが、あの取り組みが盛んだったのは黒田会長の時代からですか。

黒田 私が会長の時は渡邊文彦教授が理事長になられて、「一度話をしたい」とおっしゃっていたこともあって実現しました。その後に続くメディアセミナーなどは田岡さんの



井上 和典



JADIS のホームページ。一般の方にインプラント治療に関する正しい知識を持っていたくことを目的の一つとして立ち上げている。

時代の取り組みです。

田岡 JSOI の渡邊理事長、古谷野理事、矢島理事(役職は当時のもの)、高梨弁護士にお願いして 2 年間で 4 回企画しました。

黒田 メディア向けに講演していただくという企画でしたね。

井上 国民に向けた発信についてはいかがでしょう。

黒田 国民向けは歯科医師会主導で開催された「市民フォーラム」に協力させていただく形で参画しました。

市民権を得たインプラントに新たな課題が

廣瀬 続いて井上会長時代のお話を伺いたいと思います。

井上 歴代会長の方々に基礎となる

部分を築いていただきましたので、私は会としての成熟期に会長を拝命させていただき本当に感謝しています。私の会長時代にあったことと言えば「国民生活センター」による再度の報道発表を受けての『週刊ダイヤモンド』への取材対応です。インプラントに対するネガティブ報道は減りましたが、過去の名残がまだ少しありました。ただ、JSOI や日本顎顔面インプラント学会などとともに正しい情報発信が行うことができ、インプラントも市民権を得てきたことを実感しました。

黒田 学会の対応も早かったですよね。

井上 「インプラントの価値を正しく広める」という意味においてはとても早かったですし、ネガティブ報道の雑誌記事などもそれほどありませんでした。

ところで、私の会長拝命直前に産声をあげたのが「CAD/CAM アバットメント」です。デジタルの進化によって既製品からカスタムメイドの技工装置が増えてきたわけです。この件については、歯科技工士法、歯科医師法をはじめ多くの複合的要素があって、いまだに答えが出しにくいところがあります。これが歯科医師法だけであればもっと早く答えは出せるでしょうし、同じく歯科技工士法だけだったら良かったのですが・・・、非常に難しい問題です。

田岡 やはり“患者さんの立場に立って”と考えていくと難しい部分がありますね。

井上 カスタムメイドによる法の枠内ではまだ確立されていないので

す。決して間違ったことをしているわけではないのですが、正しく行おうと思うと非常に難しい。正しい理解がないと「歯科医師の裁量で」という部分が曖昧なのでいろんな解釈が発生してしまいます。

田岡 臨床を行う先生方の理解があって、初めてそれが患者さんに提供されるので、直接的には患者さん一人ひとりへの影響が大きいと思います。

井上 学会でもそれが課題になっているようです。「“裁量”という部分をはき違えてはいけない」ということではないでしょうか。

黒田 裁量権を狭める方向だとなかなか前に進まないですね。

廣瀬 そうした背景や国内の法規制について理解していただいた上で、私たちと同じ立場で事業活動を展開できるようにしていく、ということだと思います。

田岡 そういう意味でも、JADIS として今後どこを目指していくのかを示すビジョンの存在がとても重要になってくると思います。

「JADIS ビジョン」の策定

廣瀬 「JADIS ビジョン」を最後のトピックスにしたいと思います。まず田岡さんの会長時代である 2015 年に 10 年後のビジョンとしてまとめられました。

田岡 当時さまざまな出来事が重なり、会としてのビジョンやゴールを共有することができたと思ったことがきっかけです。アンケートで皆さんの意見を聞きながら「JADIS ビジョン 2025」をつくり、『JADIS News』に掲載しました。その後『インプラント YEAR BOOK 2017』で 2027 年を見据えた JADIS ビジョンとして発表することができました。

井上 そして私の会長時代に、JADIS ビジョンの細かいところは更新して、大きなゴールはそのまま踏襲させてもらいました。



廣瀬 JADIS としてさらに成長していかなければならないという観点から、加盟企業数の増強も課題かと思っています。日本国内でインプラントの製造販売を行っている企業が直近で 29 社、そのうち JADIS 加盟企業が 16 社です。学会や PMDA (独立行政法人 医薬品医療機器総合機構) と連携しながら成果を上げている実績について知っていただくことがひとつ。さらに行政や PMDA の方を講師に招聘して、インプラント承認基準などの法規制について解説していただくこともできますし、承認基準の改正作業も共同で行えるといったメリットなども伝えていきたいと思っています。

井上 材料組合や輸入協会など、どこかの組織に加盟していないと情報収集という部分において本当は不便があるはずです。未加盟の企業はいったいどこからリアルタイムで正確な情報を入手しているか常々疑問に思っていました。

田岡 加入すれば必要な情報がきちんと取れますからね。

井上 正しい理解と法令違反が疑われるようなビジネスへの抑止力にも繋がると思います。

廣瀬 一定の加盟基準は必要ですが、業界全体のマイナスに作用するようなことがあれば、ある程度ウェルカムな形にしておいて、抑止力という意味で展開していくことも必要かと思っています。また、接点を持つと

いう意味では承認基準改正が発出された場合、必ず勉強会や説明会は必要ですし、PMDA の立場からすれば「インプラントを取り扱うすべての企業に聞いて欲しい」という思いがあるはずです。その前提を踏まえて、例えば JADIS 主催で PMDA の方に講師にお越しいただいて、インプラントを扱う企業全社を招待するというのはいかがでしょう。

田岡 JADIS の加盟企業かどうかは問わないで、ということですね。

黒田 新型コロナウイルスの今後の状況にもよりますが、これを機会に未加盟の企業の方と懇親の場を持つことも一つの方法だと思います。

井上 昨年は新たに 3 社加盟していただきましたが、もっと会員数を増やしていきたいですね。

廣瀬 あとは井上さんが言及された JADIS からの情報発信の充実を考えると「事務局機能の強化」も課題になると思います。

田岡 加盟企業を増やす意味でも情報発信はとても重要です。そこは広報部隊に知恵を絞っていただいて、歯科医師の先生方だけでなく、その先の患者さんも見据えたような形で発信していけるといいと思います。

来たる 10 年後に向けて

廣瀬 最後に皆さんから、今後の第 7 代、8 代と継いでいく方々に向けてメッセージをお願いします。

井上 今後、業界もさらに多様化が進むと思われます。JADIS として加盟企業が一丸となって課題に向き合い、前向きに問題解決や新たな取り組みに挑戦していく姿勢が今後さらに必要になってくるのではないかと感じています。

黒田 セットアップに加勢して下さっているのですから、企業の代表として JADIS に参画していただく方は、各社のサポートをもっと積極的に行って欲しいという気持ちはあります。

田岡 JADIS としての会の力や、メッセージが出せるので、これから取り組んでいくことを皆さんと一緒に考えるのは重要になってくると感じます。それがひいては歯科医師や患者さん、そしていずれは私たちにも還元されるのではないかと思います。

廣瀬 この 2 年間、新型コロナウイルスの影響でいろんなアイデアを募る機会が持てなかったのが、次の 10 年、20 年に向けて加盟企業のニーズを汲み取りながら新たな活動を展開していければいいと考えています。

井上 JADIS の最大の魅力はお互いの情報交換が密なところだと思います。今後、さらにこの魅力に磨きをかけ、より一層社会に貢献していければいいですね。

廣瀬 本日は貴重なお話をありがとうございました。

株式会社アイキャット | 大阪府大阪市淀川区西中島三丁目19番15号 第3三ツ矢ビル3階

〈2020年入会〉



20周年おめでとうございます

弊社は2020年より加入させていただいた新参者ですが、皆様方と情報交換できる貴重な場として、また有益な勉強の場として活用させていただいております。改めましてこのご縁を繋いで下さった皆様に御礼申し上げます。引き続き諸先輩方にご指導いただきつつ、微力ながら業界の発展に少しでも寄与できるよう精進して参る所存です。

株式会社アルタデント | 大阪府大阪市北区芝田二丁目8番31号 第三東洋ビル2F

〈2003年入会〉



「口腔の健康を通じた社会への貢献」を目指して

インプラント治療が正しく理解され適切な治療のオプションとしてその地位を獲得することは、国民のQOLの向上に大きく貢献します。私どもは「口腔の健康を通じた社会への貢献」を理念とし、インプラント治療の正しい普及と患者さんの理解促進というJADISの考えに基づき今後も業界活動を共にしてまいります。

Ivoclar Vivadent 株式会社 | 東京都文京区本郷一丁目28番24号

〈2016年入会〉



審美と共に「人々を笑顔に」

欧州リヒテンシュタインに本社があり、審美を中心とする歯科材料・治療器具をグローバルに展開しております。「人々を笑顔に」をビジョンに掲げ、日本の歯科業界に貢献すべく研鑽を重ねてまいります。会員各社様とは、同じ目標掲げる同業社として、貴重な交流の機会を頂いております。あらためて深く感謝申し上げます。

株式会社インプラテックス | 東京都荒川区西日暮里二丁目33番19号 YDM日暮里ビル

〈2002年入会〉



～The Best Partner of Dentists～

当社はヤマウラホールディングス傘下の企業として(株)YDMと共にJADISに参画しています。日々の業務ではライバルでもある各企業が当会を通してインプラント業界発展のために知恵を出し合い、団結するところ等は参画している企業冥利に尽きます。今後も業界発展のため当会メンバー一丸となって活動して参ります。ご期待ください！

株式会社カイマンデンタル | 東京都千代田区一番町8番地15 一番町MYビル2F

〈2020年入会〉



医療関連企業の一員として

インプラントメーカーでは日が浅く業界でも小さな会社ですが、約2年前に入会させていただきましたことに感謝申し上げます。入会してまだJADISの活動に貢献できておりませんが、高い倫理性と公共性が求められる医療関連企業の一員として、会にふさわしい行動をとっていきたいと思っております。

株式会社ガイドデント | 東京都渋谷区幡ヶ谷一丁目34番14号 宝ビル4F

〈2020年入会〉



歯科治療の安心と安全をカタチに

弊社はインプラント10年保証、審美歯科治療5年保証をサービス提供する第三者保証機関の会社となります。「ガイドデント保証システム」はサービス提供会社であるガイドデントが第三者として保証をバックアップし、患者さまのインプラント治療を長期的にフォローすることで、患者さまにより安心して治療を受けて頂けます。

京セラ株式会社 | 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地

〈2002年入会〉



JADISでの活動を振り返って

JADIS発足20周年誠にありがとうございます。業界を取り巻く環境が大きく変化する中で「業界の健全な発展をめざす」本協議会での活動は、多くのことを学ぶ機会を得るとともに大きな励みとなりました。これからも「インプラント治療の安心と安全」に寄与できる企業として邁進して参ります。

株式会社ジーシー | 東京都文京区本郷三丁目2番14号

〈2002年入会〉



インプラント治療の正しい普及に注力

JADIS設立20周年及び記念誌発刊まことにありがとうございます。この20年間でインプラント治療は、一般の方にも広く認知される欠損補綴治療オプションの一つとなりました。昨年100周年を迎えた弊社は歯科医療総合メーカーとして、JADISの皆様と共に患者様のQOL向上に貢献し、今後もインプラント治療の正しい普及に努めて参ります。

株式会社松風 | 京都府京都市東山区福稲上高松町11番地

〈2015年入会〉



歯科インプラント治療にトータルソリューションで貢献

人生100年時代が謳われている昨今、人々の健康寿命の延伸に向けて歯科医療が果たすべき役割は重要性を増しています。1922年の創立以来100年、歯科器材メーカーとして世界中の人々の笑顔づくりに貢献してきました。信頼の「SHOFU」ブランドはJADISの活動を通じて、安全・安心の歯科インプラント治療にトータルソリューションでお応えします。

ジンヴィ・ジャパン合同会社 | 東京都新宿区市谷本村町1番1号 住友市ヶ谷ビル2F

〈2002年入会〉



インプラント業界の更なる発展に向けて

同じ業界で活動を行う各社ですが、JADISにおいては普段は競合となる企業様とも会社の垣根を越え、有益な情報交換ができるパートナーとして交流させていただいています。弊社は外資系企業ということもあり体制変更が続いていますが、これからもインプラント業界の更なる発展に向けて共に歩んでいければと考えています。

ストローマン・ジャパン株式会社 | 東京都港区芝五丁目36番7号 三田ベルジュビル6F

〈2008年入会〉



次世代歯科治療の可能性を押し広げる

Straumann® Group–スイスを本拠地とし、インプラント歯科学、口腔組織再生、審美歯科の領域でリードするグローバル企業です。世界で信頼されるブランドとして、高い品質、信頼性は、長期治療成績によって裏付けられています。豊富なエビデンスが支える製品とイノベーションの提供、デジタルワークフローの活用今後も取り組み、次世代歯科治療の可能性を押し広げます。

大信貿易株式会社 | 大阪府堺市西区浜寺公園町三丁目231番3号

〈2002年入会〉



JADISでの活動を通じて

普段面識のない同業社の方々との接点ができ、業界内で自分の価値を高めるきっかけになりました。また、業界の状況を皆さんと共有するなかで、さまざまな課題に挑戦し、一致団結する達成感を味わうこともできました。温かく迎えていただき深く感謝申し上げます。同業の若手社員の皆さん！その若い力をJADISで存分に発揮してはいかがでしょうか！

デンツプライシロナ株式会社 | 東京都港区麻布台一丁目8番10号 麻布偕成ビル < 2003年入会 >



歯科インプラント業界に不可欠な存在
近年、コンプライアンスという言葉は益々重要視されており、それに伴い歯科医療業界でも、より健全でより透明な企業活動が求められています。各企業が正しい姿勢で活動を行い、インプラント業界全体が国民の医療に正しく貢献するために、JADISという存在は極めて重要で、必要不可欠な団体だと思います。

株式会社 デンテック | 東京都板橋区清水町53番5号 < 2004年入会 >



企業間の垣根を超えて
メーカー間での情報交換や、インプラントの販売実績のデータ提供など業界内において貴重な情報共有の場として大変助かっております。また、JADIS参加企業の方々はライバル関係であるにも関わらず、安全で有意義なインプラントを作ること注力しており、企業間の垣根を超え業界全体がより良くなるよう団結して活動しています。

株式会社ニッシン | 京都府亀岡市旭町樋ノ口88 < 2009年入会 >



活動を通じ、インプラント技術習得の一助として
株式会社ニッシンは創業以来75年に渡り歯科事業に特化し、歯科教育製品および歯科治療材料の製造・販売を行ってまいりました。歯科実習用模型においては50ヶ国以上の歯科教育機関でご利用いただいております。本会活動を通じ今後も安心・安全のインプラント技術習得の一助となる歯科実習用模型を開発、提案してまいります。

日本ピストンリング株式会社 | 埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12番10号 < 2014年入会 >



JADIS加入によってインプラント普及に貢献
当社は歯科用インプラント事業に参入し8年目を迎えます。JADISに加入してから様々な情報共有をいただいたり、業界内の課題解決を皆で審議があったり、よりインプラントの普及に貢献できるを感じています。これからもJADISの一員として先生方や患者様、協力メーカーの皆様に適切な情報、製品を提供してまいります。

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社 | 東京都品川区北品川四丁目7番35号 御殿山トラストタワー13F < 2002年入会 >



JADISこれまでの20年、これからの更なる発展へ向けて
ブローネマルク先生の骨とチタンの結合発見以来、インプラント治療は欠損補綴の有効な選択肢として世界的に普及し多く患者のQOL回復に寄与しています。近年治療技術の向上とデジタルの融合で安全安心な治療ニーズは高まり、JADISは唯一の関連企業団体として社会的使命と相互の健全成長の為、益々の発展を期待致します。

白水貿易株式会社 | 大阪府大阪市淀川区新高一丁目1番15号 < 2002年入会 >



日本歯科インプラント器材協議会20周年によせて
白水貿易は2022年で創業71周年を迎えます。創業以来大切にしてきたこと、それは社是にもなっております「高度な歯科医療実現のため世界から選び抜かれた製品を紹介します」、今後もそのポリシーを守り、日本の歯科医療関係者に貢献し、患者さんのQOL向上に貢献したいと努力してまいります。

株式会社プラトンジャパン | 東京都町田市大蔵町56番地 鶴川アカデメイアビル < 2012年入会 >



～業界全体への貢献～
JADISの主要な活動の一つである薬事担当者意見交換会では、共通する課題の共有・検討を通じ自社へのフィードバックはもちろん、承認基準案の策定など形に残る作業を通じて、業界全体への貢献や達成感を実感できます。JADISへ入会の際は、薬事担当者意見交換会へのご参加もお待ちしております！

株式会社モリタ | 大阪府吹田市垂水町三丁目33番18号 < 2002年入会 >



インプラント治療の価値向上を目指して
一般社団法人日本歯科インプラント器材協議会発足20周年おめでとうございます。株式会社モリタは、歯科インプラント治療の更なるご発展、そして患者様のご健康と長寿への実現を祈念致すとともにインプラント治療の価値を更に高めるため、今後も活動して参ります。

株式会社ヨシダ | 東京都台東区上野七丁目6番9号 < 2002年入会 >



JADISの今後益々の発展を祈念
20年ほど前、薬事関係の連絡等でインプラントの販売会社間もつと風通しが良くなってはと、連絡組織として協議会を発足することになったと記憶しております。インプラント学会前後に会議と懇親会を開き、その後様々な時と場所で集まりより親密になりました。これからも協議会が益々発展することをお祈り申し上げます。

株式会社 YDM | 東京都北区田端六丁目5番20号 < 2008年入会 >



これからも先生方の良きパートナーとして
弊社が歯科用器械器具専門メーカーとして設立して約70年。この間、歯科医療が日進月歩の着実な進歩と発展を遂げる中、私たちは器械器具メーカーとしてその責任の一端を果たして参りました。これからも先生方の良きパートナーとして創業の精神とその伝統、技能を守り続けながら医療に貢献して参りたいと思っています。

和田精密歯研株式会社 | 大阪府大阪市淀川区東三国一丁目12番15号 辻本ビル6F < 2016年入会 >



JADIS20周年を祝して
JADIS20周年おめでとうございます。当社は会歴は浅いものの、1958年創立の歯科技工所として、1967年にサブベリ型、1975年頃には山口県の故山根稔夫先生ご指導の下、歯根型やブレード型を手掛けた、アジア初のインプラントメーカーです。今後も微力ながら業界の一助となるべく精進致します。

加盟企業名については、法人名の変更等により、入会当初の名称から変更になっている場合がございます。また、当初入会年度を表記しています。

JADISの足跡 ～写真から振り返るJADIS 20年の歩み ①～



01 02 2006年9月開催の総会出席メンバーと同総会の様子 03 初代高尾会長(当時:写真右)と嵯峨副会長(当時) 04 2004年2月湯布院で行われた例会後の懇親会 05 2004年理事会後の懇親会 06 07 高尾会長(当時)と日本歯科大学新潟歯学部 渡邊教授(当時):大学でのインプラント教育に対してJADISからの協力の可能性を協議 08 09 2009年9月開催の総会出席メンバーと同総会の様子

10 2012年8月渡邊文彦先生の教室訪問 11 2012年6月JADIS創立10周年(第11回総会) 12 「医療機器行政の最近の動向」をテーマにご講演(第11回総会) 13 厚労省 医療機器審査管理室 高江氏によるご講演 14 JADIS10周年記念祝賀会 15 祝賀会に先立ち理事会を開催 16 17 JADIS10周年記念祝賀会の様子

JADISの足跡 ～写真から振り返るJADIS 20年の歩み ②～



18 19 2014年6月開催の総会出席メンバーと総会の様子 20 2014年8月5日の役員会後の食事会—株式会社ヨシダ山中一郎社長（当時）と
21 2015年9月開催の総会出席メンバー 22 2014年10月古谷野瀬先生メディアセミナー後の懇親会 23 24 2015年熱海大観荘にて役員会開催
25 2016年広報委員メンバー、インプラント啓発ポスタープロジェクト後の懇親会



26 27 28 29 30 2013年3月31日 歯科医師会館にて「市民フォーラム」を開催。定員の300名を超える参加者で大盛況となった
31 32 33 「歯科インプラント治療啓発ポスターコンテスト」(募集期間2015.12.9～2016.2.10) 34 2018年6月21日「JADISワイン会」開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年以降に予定されたイベントや会合はすべてリモートによる対応となりました。

第7回
一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会 総会
2022年6月10日(金) 赤坂インターシティ AIR(The Amphitheater)



新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的大流行（パンデミック）はグローバルな医療危機にとどまらず、生活様式や会議のあり方を一変させるものとなりました。そのなかで、国内の緊急事態宣言解除を経て、3年振りとなる対面での「第7回総会」開催が実現し、加盟企業の皆さまとの闊達な意見交換や新メンバーとの親交を大いに深めることができました。



一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会 創立20周年祝賀会
2022年6月10日(金) The Okura TOKYO「平安の間」



The Okura TOKYOにおいて、「創立20周年記念祝賀会」を開催いたしました。コロナ禍の状況で開催も危ぶまれましたが、徹底した感染対策のもと、加盟企業から多くの参加者が集いました。廣瀬会長は挨拶の中で、「有効で安全な歯科インプラント器材およびサービス・情報の提供を通じて、人々のQOLの向上、健康長寿社会の実現に貢献する」というビジョンを述べ、今後の活動へのさらなる協力を求めました。祝宴では、功労者表彰のほか、20年の活動の軌跡を映像で振り返る企画も披露され、創立当時の懐かしい映像を眺めながら各々思い出話に花を咲かせていました。



年表で振り返る JADIS 20 年の歩み 2002 – 2007

年	JADIS の動き			インプラント関連のトピックス	歯科界の動き	おもな出来事
2002 (平成 14)	全体 9 月：日本口腔インプラント学会広島大会にて JADIS 発足準備会議を開催（参加企業 11 社） 10 月：第 1 回協議会会合を開催（発足時 10 社） 11 月：第一期役員決定、(株) インブラテックス高尾氏会長就任 12 月：協議会会則決定	広報	薬事		10 月：健康保険法等一部改正 10 月：第 4 回ワールドデンタルショー開催（10/18-10/20、パシフィコ横浜）	4 月：完全学校週 5 日制の「ゆとり教育」開始 8 月：住民基本台帳ネットワークシステム（住基ネット）稼働
2003 (平成 15)	1 月：(株) アルタテックジャパン、デンツプライ三金（株）入会 2 月：クロスフィールド（株）入会 7 月：総会開催		薬事法改正に協議会で対応することが決定 審査ガイドライン（現インプラント承認基準）の活動に参加したい旨を材料組合の WG に伝える（ノーベル・バイオケアジャパン（株）鈴木氏、事務局才新氏の 2 名）	7 月：第 33 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会を名古屋市で開催 大会長：蒔田真人	4 月：被用者保険本人 3 割負担実施	3 月：新型肺炎が世界的流行 3 月：イラク戦争開戦 4 月：SARS（重症急性呼吸器症候群）を新感染症に指定 5 月：個人情報保護法が成立 6 月：有事関連三法が成立 12 月：イラクへ自衛隊を派遣
2004 (平成 16)	2 月：JSOI 意見交換会出席（高尾会長、嵯峨副会長、田岡理事） 2 月：湯布院にて例会開催 9 月：(株) デンテック入会	9 月：HP 開設のための活動開始	1 月：大阪薬事関連 MTG 開催 2 月：東京薬事関連 MTG 開催 薬事委員会発足（白水貿易（株）、(株) アルタテック、(株) ヨシダ、ノーベル・バイオケアジャパン（株）、事務局） FDA、ISO の邦訳を協議会会員企業で作成する	9 月：第 34 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会を大阪市で開催 大会長：前田芳信	4 月：独立行政法人医薬品医療機器総合機構設立 10 月：第 20 回日本歯科医学会総会「健康な心は身体と口腔から」開催（パシフィコ横浜） 10 月：日本デンタルショー 2004 開催（10/29 -10/31、パシフィコ横浜）	10 月：新潟県中越地震 12 月：スマトラ沖地震 M 9.1
2005 (平成 17)	JSOI 総会への協力開始 9 月：青森県南津軽郡 大鰐温泉にて総会開催 会則の改訂実施	HP 開設活動 JSOI 山内理事の監修を受け、5 月 18 日に HP アップ	2 月：各社添付文書の共有 インプラント承認基準作成協力続行	9 月：第 35 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会を弘前市で開催 大会長：木村博人	1 月：薬事法改正法施行（医療機器修理業の許可・許可要件整備） 4 月：薬事法改正法施行（医療用具から医療機器へ・製造販売業の新設） 6 月：介護保険法改正（口腔ケア盛り込まれる） 12 月：平成 18 年度診療報酬改定	4 月：個人情報保護法全面施行 10 月：郵政民営化法成立
2006 (平成 18)	6 月：石福金属（株）、日本メディカルマテリアル（株）、横河マテリアルズ（株）入会		インプラント承認基準作成協力続行	9 月：第 36 回日本口腔インプラント学会学術大会を新潟市で開催 大会長：畑好昭	6 月：健康保険法など一部改正 8 月：政府主導により各大学歯科学部定員の削減、歯科医師国家試験の合格基準引き上げの方針を発表 10 月：第 5 回ワールドデンタルショー開催（10/13-10/15、パシフィコ横浜）	1 月：日本郵政株式会社が発足
2007 (平成 19)	2 月：例会「インプラント手術立会いについて」講演（講師：高橋勝美氏） 4 月：役員交代、高尾会長退任 第 2 代会長に（株）モリタ嵯峨氏 9 月：JSOI 大会でのドリンクコーナー費用負担開始 9 月：JSOI 総会で歯科商工のプロモーションコード委員会と一緒に巡回監視開始	HP 委員会となる（初代委員長：(株) アルタデント黒田氏） 展示会用 JADIS アクリルプレート作成	インプラント承認基準のために、各社表面処理測定のためのサンプル提供 インプラント承認基準は PMDA 側から承認基準ではなくガイドラインにする等の後退した提案があり、なかなか進まない	9 月：第 37 回日本口腔インプラント学会学術大会を熊本市で開催 大会長：添島義和 東京都中央区の歯科医院でインプラント死亡事故 JSOI 口腔インプラント専門医制度をスタート	12 月：平成 20 年度診療報酬改定	3 月：能登半島地震発生 7 月：新潟県中越沖地震発生 8 月：アメリカのサブプライムローン問題を発端とした株価急暴落 9 月：安倍晋三首相（第一次）が退陣、後任に福田康夫氏

年表で振り返る JADIS 20 年の歩み 2008 – 2011

年	JADIS の動き			インプラント関連のトピックス	歯科界の動き	おもな出来事
2008 (平成 20)	全体 2 月：ストローマン・ジャパン（株）、 （株）YDM 入会 田岡副会長退任、黒田氏が副会長就任	広報 6 月：HP リニューアル HP 委員長交代（大野委員長）	薬事 6 月：インプラント承認基準審議終了、 10～12 月パブコメ、翌 1 月発 行予定 8 月：承認基準説明会（講師：園田先生） HA コーティングインプラント用にガ イドライン作成開始	9 月：第 38 回社団法人日本口腔インプラ ント学会学術大会を東京で開催 大会長：相浦洲吉	4 月：後期高齢者医療制度開始 11 月：第 21 回日本歯科医学会総会「めざ せ！健・口・美ー未来に向けた歯 科医療ー」開催（バシフィコ横浜） 11 月：日本デンタルショー 2008 開催 （11/11・11/14、バシフィコ横浜）	8 月：中国で初の五輪開催 9 月：アメリカの大手投資銀行リーマン・ ブラザーズが倒産した「リーマン・ ショック」で世界金融危機 12 月：ノーベル物理学賞に南部陽一郎氏、 小林誠氏、益川敏英氏、化学賞に 下村脩氏が受賞 日本の人口はピークの 1 億 2,808 万人
2009 (平成 21)	4 月：役員交代、嵯峨会長退任、第 3 代 会長に（株）アルタデント黒田氏 6 月：（株）ニッシン入会 10 月：総会及び例会の開催時期変更 （2 月例会、6 月総会、10 月例会開 催となる） 12 月：ISO 会議が大阪で開催、会員企業で オブザーバー参加 12 月：インプラント販売本数調査開始 （2007、2008、2009 年を一気に調査） 薬事担当者意見交換会発足	HP に会員コラム掲載開始 HP 委員長交代（森田委員長）	インプラント承認基準を用いた申請の テンプレート作成 承認基準英訳作成 インプラントガイドライン作成続行	9 月：第 39 回社団法人日本口腔インプラ ント学会学術大会を大阪市で開催 大会長：市川哲雄 9 月：ドイツインプラント学会（DGI： German Association of Oral Implantology）と社団法人日本口腔 インプラント学会が学術協定を調印	10 月：第 45 回 ISO/TC160 年次会議開催 （大阪） 12 月：平成 22 年診療報酬改定	1 月：バラク・オバマ氏が第 44 代アメ リカ合衆国大統領に就任 5 月：裁判員制度施行 8 月：衆院選で民主党圧勝、政権交代で 鳩山由紀夫政権誕生へ 9 月：消費者庁が発足 日本の総人口は減少化傾向
2010 (平成 22)	2 月：クロスフィールド（株）退会 2 月：「インプラント使い回し疑惑」を受 けて、添付文書に再使用禁止の記 載があるか会員企業に再確認 6 月：インプラント販売本数はマイナス 成長 9 月：JSOI 理事会に協議会役員が参加、 意見交換を行う	協議会 HP コミュニケーション掲示板 使用開始 HP 委員長交代（小林委員長）	1 月：薬事担当者が集まって意見交換 インプラントガイドラインは厚 労省で止まっている インプラ ント承認基準 Q&A 作成協力	9 月：第 40 回社団法人日本口腔インプラ ント学会学術大会を札幌市で開催 大会長：松澤耕介 11 月：社団法人日本口腔インプラント学会 が内閣府より公益社団法人認定を受 ける 歯科インプラント使い回し疑惑（ママレモ ン事件）報道（豊橋）	10 月：ワールドデンタルショー（バシフィ コ横浜）	1 月：日本航空が東京地裁に会社更生法 の適用を申請 6 月：菅直人氏が新首相就任 10 月：羽田空港新国際線ターミナルが開 業 12 月：ノーベル化学賞を根岸英一氏、鈴 木章氏が受賞
2011 (平成 23)	1 月：インプラント義歯の保険収載に関 する説明会開催（講師：材料組合 由田氏） 2 月：インプラント保険収載に関する厚 労省による説明会 3 月：JSOI 川添理事長訪問（インプラ ント保険について） 4 月：役員交代 4 月：インプラント販売本数調査を弁護 士事務所に依頼することに 5 月：インプラント義歯の件で、厚労省 と協議会役員とでヒアリング開催 6 月：ロゴマークの変更（JADIS へ） 8 月：厚労省と協議会役員との第二回ヒ アリング開催 9 月：JSOI 大会へのネックストラップ提 供開始 10 月：厚労省と協議会役員との第三回ヒ アリング開催 11 月：厚労省と協議会役員との第四回ヒ アリング開催	HP リニューアル検討 HP 委員長交代（平賀委員長）	3 月：園田先生による薬事勉強会開催 材料組合 WG への協力続行 （ISO10451 の JIS 化） インプラント承認基準 Q&A その 2 作成中 11 月：第一回薬事担当者意見交換会開催 →定例化へ	9 月：第 41 回公益社団法人日本口腔イン プラント学会学術大会を名古屋市で 開催 大会長：堀田康記 12 月：国民生活センターから報道発表があ り、これを受けて NHK ははじめマス コミによるインプラントバッシング が続く。 国民生活センター報道発表（12/22） 「歯科インプラント治療に係る問題ー身体 的トラブルを中心にー」 週刊ダイヤモンド「はびこる儲け主義の治 療院」記事掲載	4 月：歯科用 CT 撮影装置が保険に収載 8 月：歯科口腔保健法制定・厚労省歯科 口腔推進室設置 11 月：歯科医師数が初めて 10 万人を突破 インプラント義歯治療が先進治療 から除外され保険適用（広範囲顎 骨支持型装置埋入手術）	3 月：東日本大震災発生 7 月：サッカー女子 W 杯で「なでしこジャ パン」が初の世界一。8 月に国民 栄誉賞授与

年表で振り返る JADIS 20 年の歩み 2012－2016

年	JADIS の動き		
2012 (平成 24)	全体 4 半期毎のインプラント販売本数集計開始 4 月：(株) プラトンジャパン入会 6 月：JADIS 発足 10 周年記念パーティー開催（ホテルニューオータニ東京） 9 月：JSOI 大会にてインプラントカードを配布 9、10、12 月：日本歯科医学会主催インプラントに関する意見交換会に出席（黒田会長、田岡専務理事、事務局）	広報 9 月：HP リニューアル 春日井昇平先生インタビュー動画撮影 コミュニケーション掲示板廃止	薬事 薬事担当者意見交換会開催（定期開催） 材料組合 WG への協力（ISO10451 の JIS 化完了、ISO14801 の JIS 化作業）、インプラント承認基準 Q&A その 2 についての厚労省及び PMDA とヒアリング
2013 (平成 25)	歯科インプラント市民フォーラム『安全・安心なインプラント治療を求めて』3/31（於：日本歯科医師会館）主催：日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本口腔インプラント学会 共催：日本補綴歯科学会、日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本顎顔面インプラント学会 後援：厚生労働省、日本歯科商工協会 JADIS として歯科商工協会に協力 4 月：黒田会長統投、役員交代 インプラント器材協議会としての「セミナーガイドライン」作成 9 月：JSOI 第 43 回学術大会シンポジウムにて講演（JADIS）「インプラントの登録を考える」：田岡専務理事 12 月：(株) マテリアライズデンタルジャパン退会	HP 委員会→広報委員会へ 歯科衛生士：佐藤久美子先生へのインタビュー 11 月：第 1 回メディアセミナー開催（渡邊文彦先生）	3 月：厚労省、PMDA、協議会薬事担当者との意見交換会（審査上の問題点を、厚労省立会いの下、PMDA と意見交換）
2014 (平成 26)	2 月：日本歯科材料工業協同組合に団体加入 2 月：インプラント研究班（ワーストケース選定）への協力決定 3 月：東京医科歯科大学 歯科器材・薬品開発センターシンポジウムにて講演（才新氏：事務局） 12 月：薬機法改正 QMS 勉強会開催	3 月：第 2 回メディアセミナー開催（矢島安朝先生） 日本歯科技工学会会長 末瀬一彦先生インタビュー 10 月：第 3 回メディアセミナー開催（古谷野潔先生）	インプラント認証基準案の作成
2015 (平成 27)	JADIS ビジョン（2025）策定 1 月：松風バイオフィックス（株）入会 3 月：ラジオ NIKKEI 医療ジャーナルインタビュー：3 月 5 日・3 月 12 日「歯科インプラント治療の有用性と JADIS の取り組み」：田岡専務理事 4 月：役員交代、黒田会長退任 第 4 代会長にストローマン・ジャパン（株）田岡氏	第 4 回メディアセミナー開催（パネルディスカッション：渡邊文彦先生、矢島安朝先生、古谷野潔先生、高梨滋雄先生）	9 月：第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を岡山市で開催 大会長：窪木拓男 インプラントカードの使用を開始
2016 (平成 28)	一般社団法人として登記 6 月総会：「歯科医療の未来予測」特別講演（JSOI 矢島安朝先生） 8 月：JSOI 関東・甲信越支部 第 7 回 学術シンポジウム講演「インプラント治療の未来予測 10 年後は？」（田岡会長：JADIS 会員企業アンケート集計をもとに）	4 月：歯科インプラント治療啓発アートポスターコンテスト開催	4 月：『改訂版 口腔インプラント治療指針 2016』を発行 9 月：第 46 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を名古屋市中で開催 大会長：永原國央

インプラント関連のトピックス	歯科界の動き	おもな出来事
1 月：NHK クローズアップ現代「インプラントトラブル急増の理由」放送（1/18） 9 月：第 42 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を大阪市で開催 大会長：江藤隆徳 「口腔インプラント治療指針」発刊	4 月：改正薬事法施行（診療報酬改訂） 9 月：厚労省、自由診療の適切な情報提供に向けた医療機関ホームページガイドラインを作成 11 月：日本デンタルショー 2012 開催（11/9-11/11、インテックス大阪） 日本の国民医療費の歯科の構成割合が 7 % を切る 日本歯科医学会会長に住友雅人氏が就任 薬事法が改正され、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が成立	2 月：電波塔としては世界一の高さ 634m の東京スカイツリー竣工 8 月：消費税法改正法が成立、2 段階で 10%に引き上げ 10 月：ノーベル生理学・医学賞に iPS 細胞山中伸弥氏が受賞 12 月：衆院選で自公が政権奪還、第 2 次安倍内閣発足
3 月：歯科インプラントに関する市民フォーラムを日本歯科医師会館で開催。300 名が参加 3 月：JSOI ホームページにインプラント治療相談窓口を設置 9 月：第 43 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を福岡市で開催 大会長：古谷野潔 インプラントの死亡事故で歯科医に有罪。東京地裁判決	5 月：厚労省、文科省「歯の衛生週間」を「歯と口の健康週間」に名称を変更 6 月：日本歯科医師会『大規模災害時の歯科医師会行動計画』改訂版を作成 歯科用 CAD/CAM システムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴保険適用 歯科技工法、歯科衛生士法の改正案が可決成立 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」が公布	1 月：東京証券取引所グループと大阪証券取引所が合併、日本取引所グループに商号変更 6 月：富士山が世界文化遺産に登録
9 月：第 44 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を東京で開催 大会長：築瀬武史 JSOI 認証医を JSOI 専修医へ移行	11 月：「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」施行 CAD/CAM 冠（レジンブロック）が保険収載される	4 月：消費税増税実施（5%から 8%に） 7 月：日本人の平均寿命、女性 86.61 歳、男性 80.21 歳 10 月：ノーベル物理学賞で青色発光ダイオード（LED）を開発した赤崎勇、天野浩、中村修二の 3 氏が受賞
9 月：第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を岡山市で開催 大会長：窪木拓男 インプラントカードの使用を開始	4 月：レセプト電子請求の原則義務化開始 11 月：ヒューマノイド歯科教育研究会が発足 歯科治療・水に細菌…機器に滞留し増殖対策不十分 ヨミドクター（読売新聞）	3 月：北陸新幹線の長野ー金沢間開通 10 月：ノーベル生理学・医学賞に大村智氏、物理学賞に梶田隆章氏が受賞
4 月：『改訂版 口腔インプラント治療指針 2016』を発行 9 月：第 46 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を名古屋市中で開催 大会長：永原國央	7 月：日本デンタルショー 2016 東京開催（7/16-7/17、東京ビッグサイト） 10 月：第 23 回日本歯科医学会総会「歯科医療 未来と夢」開催（10/21-10/23、福岡国際会議場、福岡サンパレス） 10 月：日本デンタルショー 2016 福岡開催（10/21-10/23、マリンメッセ福岡）	4 月：女性活用推進法施行、女性の活躍推進に向けた行動計画が義務化 4 月：熊本地震 6 月：改正公職選挙法施行（選挙権年齢の引き下げ） 8 月：第 3 次安倍第 2 次改造内閣発足 10 月：国勢調査で初めて国内の総人口が減少（総人口：1 億 2709 万人） 12 月：アメリカ合衆国大統領選挙でドナルド・トランプ氏が勝利

年表で振り返る JADIS 20 年の歩み 2017 – 2022

年	JADIS の動き			インプラント関連のトピックス	歯科界の動き	おもな出来事
2017 (平成 29)	全体 定款修正 6 月総会「歯科における遠隔診療普及への課題」特別講演（康本征史先生・落合宏明先生） 4 月：クイントインプラント YEAR BOOK2017 特集「インプラント治療の 10 年後を予測」－メーカーの視点から見た現状と未来像－（田岡会長）	広報	薬事 歯科用インプラントの添付文書のひな型作成	9 月：第 47 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を仙台市で開催 大会長：西郷慶悦		6 月：天皇の退位等に関する皇室典範特例法公布 7 月：テロ等準備罪法が施行 「平成 28 年歯科疾患実態調査」結果公表（厚労省）
2018 (平成 30)	田岡会長退任 第 5 代会長にデンツブライシロナ（株）井上氏		プロモーションコード勉強会 いわゆるカスタムアバットメントに関して、材料組合歯科材料問題検討委員会との連絡調整	9 月：第 48 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を大阪市で開催 大会長：馬場俊輔		2 月：羽生善治竜王（将棋）と井山裕太七冠（囲碁）が国民栄誉賞受賞 6 月：医療広告ガイドライン施行 医療機関のホームページも広告と見なされる 7 月：羽生結弦（フィギュアスケート）が国民栄誉賞受賞
2019 (平成 31)		公的機関、関連団体等の HP バナーを関連リンクエリアに掲載 第 49 回公益社団法人 日本口腔インプラント学会・学術大会（プログラム集・表 4 広告） JADIS News 制作	歯科材料組合インプラント WG へインプラント承認基準見直し案の説明	9 月：第 49 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会を福岡市で開催 大会長：城戸寛史	国民生活センター報道発表に関する声明 2019/3/14 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」改正（2020 ～ 2022 年にかけて施行）	
2020 (令和 2)	6 月：役員改選 定款変更（第 23 条＜役員の選任＞変更案に関する決議） 6 月：新規入会企業 （株）アイキャット （株）ガイドデント （株）カイマンデンタル		インプラント承認基準見直し作業→材料組合へ	9 月：第 50 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会をオンデマンド WEB 開催 大会長：井汲憲治 「口腔インプラント治療指針 2020」発刊		3 月：WHO が新型コロナウイルス感染症をパンデミック（世界的大流行）とみなせると表明
2021 (令和 3)	9 月：井上会長退任、第 6 代会長に（株）プラトンジャパン廣瀬氏 12 月：第 51 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 倫理セミナー講演「歯科用インプラントと歯科用材料の適正使用と安心・安全な治療のために」－業界団体の立場から－（廣瀬会長）	JSOI にて JADIS 賞（国際誌優秀論文賞（仮称））の創設	「歯科用インプラントについて」勉強会（講師：PMDA）	12 月：第 51 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会をオンデマンド WEB 開催 大会長：津賀一弘	8 月：添付文書の電子化スタート	7 月：東京オリンピック・パラリンピック開催
2022 (令和 4)	6 月：第 7 回総会開催 役員改選 6 月：創立 20 周年記念祝賀会開催（The Okura TOKYO） 日本口腔インプラント学会誌 35 巻 2 号「歯科インプラントと歯科材料の適正使用と安全・安心な治療のために」掲載	10 月「創立 20 周年記念誌」発刊		5 月：公益社団法人日本口腔インプラント学会創立 50 周年記念式典、祝賀会開催		

JADISの主な活動実績 ①

薬事担当者意見交換会

JADISでは、2009年5月に制定された歯科用インプラント承認基準の作成など、日本歯科材料工業協同組合のインプラントワーキンググループ(以下、インプラントWG)に協力してきました。これは業界活動に貢献するとともに、加盟企業各社にとって薬事承認取得はとても大切な業務であり、早期承認取得は各社の利益に直結し、また日本のインプラント治療の発展にも資するものであったからです。

薬事担当者意見交換会の発足

薬事担当者だけの会議は黒田会長(当時)の発案で、2010年1月7日に開催されました。これは2009年に承認基準ができたにも拘わらず、承認審査は進まず、各社が独立行政法人医薬品医療機器総合機構(以下、PMDA)からの膨大な照会事項に苦しんでいた時期でもありました。各社の薬事承認申請の内容というのは非常に高い機密事項であり、薬事担当者は主に内勤でコソコソとパソコンに向かって書類を作成している方々ですから、振り返ってみると、外部の人と問題点について意見交換を行うことは「恐る恐る」の経験ではなかったかと思います。それでも、各社担当者との顔合わせ、各社の「言える範囲の内容で」の問題点への共感と経験談によって、とても活発な会へと発展していきました。

インプラント業界としてPMDAと話し合える位置づけを目指して

2010年12月の役員会で、意見交換会は「インプラント業界としてPMDAと話し合える位置づけを目指して」定期的に開催されることが決まり、2011年の11月に正式に「第一回協議会薬事担当者意見交換会」が開催されました。まずは承認審査問題の窓口である医機連法制委員会・承認関連分科会に具体的な問題点を提起することを目的に、PMDAによる審査の問題点や照会事項で困っていること、通知の解釈等々、具体的な意見交換を実施しました。この後、2012年1月、3月・・・と定期的に開催されることとなり、第4回には承認基準Q&Aの見直し案を作成するインプラントWGの責任者を交えて、Q&A案についての意見を交換するまでになったのです。自分たちの意見を通知として発出されるQ&A案に対して発言できることはとても大きな意味がありました。



そしてPMDAと意見交換ができるまでに

2013年3月には当時の厚労省医療機器審査室の立会いの上、PMDAの審査で困っている点について、PMDA・業界側で直接意見交換が実現しました。PMDAでの開催となったこともあり、問題点を指摘、説明することは非常に勇気が要ることでしたが、PMDA側でも快く受け止めてくださいました。やはり1社だけでは無力でも、同業者が意思統一して一つの問題に立ち向かうことの大事さを実感した時期でもありました。

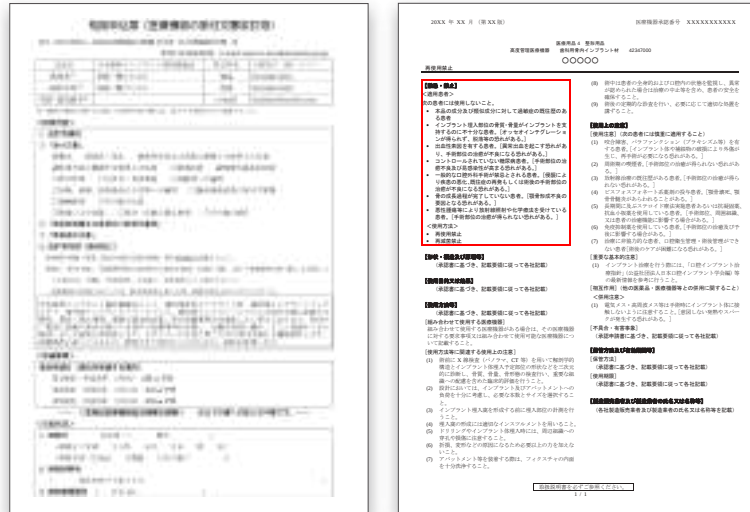
さまざまなデータの提供

JADISでは発足以来、インプラントやアバットメントに関する寸法、原材料、表面処理などのデータを提供してきました。2015年にインプラントWGよりワーストケース選定の通知作成のために依頼された「静的試験の塑性変形開始荷重と疲労試験の疲労限データ」は、会員企業から40件近いデータが集まり、インプラントWGならびに PMDA にJADISの薬事担当者意見交換会の存在と結束をさらにアピールできたように思います。またこれらの会員企業の協力が活かされた通知の英訳にも取り組みました。



添付文書のひな型の作成

2016～2017年にかけては、添付文書のひな型作成に取り組みました。各社の添付文書を全て集めて、各社の異なる表現を最大公約数的に絞り込み、担当者全員で最適な文言を検討して、「禁忌・禁止事項」「使用上の注意」「重要な基本的注意」などを確定していきました。PMDAにも相談に出向き、承認されて相談番号を提供されたひな型は、現在も各社で使用されています。



今後の活動について

薬事業務は常にブラッシュアップが必要です。JADISの発足後、薬機法が改正され、新しい通知も多数発出され、2021年にはQMS省令も改正されました。薬事担当者意見交換会は、JADIS会員各社の薬事担当者がその解釈に迷い、対応方法がわからず困ったときに「ひとりで悩まずに話し合う場所がある」そういう場所でありたいと思っています。



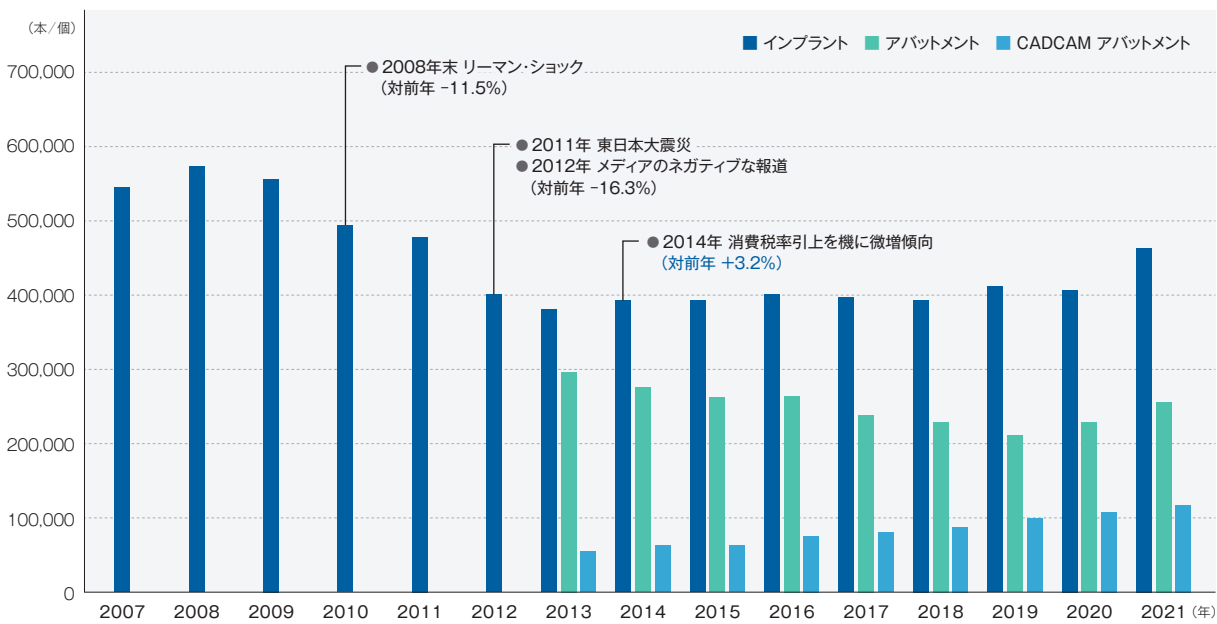
JADISの主な活動実績 ③

インプラント業界をデータとともに振り返る

JADISでは、業界団体としてインプラントの市場規模をより正確に把握する目的で、会員企業の協力を得て、「インプラント」「アバットメント」「CAD/CAMアバットメント」の販売数量の調査を行ってきました。

調査は2009年12月に開始され、2007年～2009年までの3年間はまとめて調査を行い、2010年以降は毎年四半期毎の調査を実施しています。

■ 年別 販売本数・個数 (JADIS加盟企業合計)



「インプラント／アバットメント販売数量」から推察できること

インプラント治療に対する社会的な評価やニーズ、また、歯科界や社会全体における立ち位置は、発展と成長を遂げるとともにさまざまな紆余曲折、変化を経てきたことがわかります。

- 2008年末のリーマン・ショックを発端とする世界的な経済不況による影響 (2010年 対前年-11.5%)
- 2011年の東日本大震災、国民生活センターによるインプラント・トラブルの報告、さらに、2012年メディアのネガティブな報道により市場は低迷 (対前年-16.3%)
- 2014年の消費税増税 (8%) による駆け込み需要を機に、2016年にかけて微増傾向 (対前年3.2%増)

急速な市場の成長とその要因は？

インプラント市場は、2000年に約20万本であったのが、2008年には約65万本まで成長したと推察されます¹⁾。そうした急速な市場の成長の要因として、団塊世代の高齢化、喪失歯の増加、さらには、テクノロジーの革新にともなうインプラント実施医院の増加²⁾などが挙げられます。

- 1) R&D編『歯科機器・用品年鑑2010年度版』
- 2) 2002年～2014年の間に2.3倍に増加／厚生労働省調べ

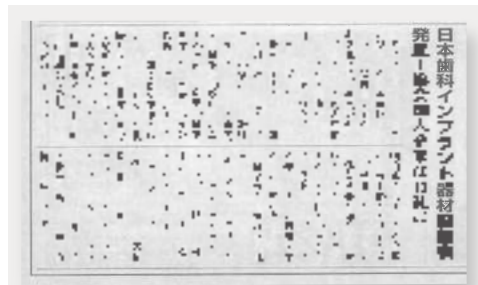
歯科インプラント業界、これからの未来予想図

JADISでは、調査から得られたこれらのデータをもとに、今後10年先のビジョンを見据えつつ、関連団体とも協力しながらインプラント治療の啓発・普及に取り組んでいくことで、新たな発展の可能性が拓けるのではないかと考えています。

JADISの主な活動実績 ④

メディア掲載

JADISはこれまでクインテッセンス出版(株)をはじめ様々なメディアで取り上げられてきました。ここではその一部をご紹介します。



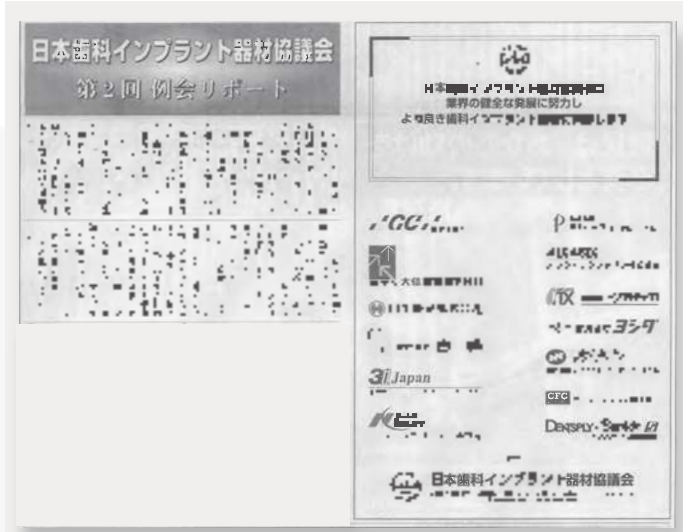
● 新聞クイント 2003 (平成 15) 年 2 月 10 日付



● 新聞クイント 2007 (平成 19) 年 9 月 10 日付



● ラジオ NIKKEI 医療ジャーナル
2015年3月5日、3月12日放送



● 新聞クイント 2003 (平成 15) 年 11 月 10 日付



● 新聞クイント 2012 (平成 24) 年 9 月 10 日付



● インプラント YEARBOOK 2017

編集後記



JADIS 専務理事
中島 賢

後世に受け継ぐ貴重な資料として

日本歯科インプラント器材協議会(JADIS)は、2002年に発足し、今年で創立20周年を迎えました。その足跡を振り返るとともに、現加盟企業様、歯科インプラント業界に携わる企業様への後世に受け継ぐ貴重な資料となることを祈念し、20周年誌を発刊いたしました。

JADIS創立までの経緯や歴史、活動実績、さらに諸先輩方が直面した苦難については「2030年に向けたJADISのビジョン」と題した本誌座談会をご覧ください、およそご理解いただけることと存じます。

今後、我々は、国民に対する「安全なインプラント治療」の広報活動の強化、薬機法をはじめ、複合的な要素を会員企業全体で共有し、国民のQOLに繋がる提言、提案を行うことによって「より多くの人々が、インプラント治療を享受でき、QOLの向上を得ることができる」という2030年に向けた“JADISビジョン”を達成できると信じてやみません。

近い将来、歯科技術のデジタル化のみならず、流通、教育においても、AIやロボット技術の進歩を避けて通ることは困難でしょう。ただ、それを受容しながらも、「同じ商材を扱う企業同士のコミュニケーションをはかる場」としてJADISを運営してきた歴代会長の思いがこの記念誌を通じて伝わってくるのではないのでしょうか。

JADISの諸先輩方は、JADISを通じて得られた「人と人の繋がり」を育み、それを知恵として業界の発展に役立てられる人材に育つことを願い、この20年間でひたすら邁進してこられました。この記念誌発刊にあたり、その諸先輩方には、貴重なお時間と、多大なご協力をいただきました。事務局長、広報委員メンバー、記念誌制作メンバー、ご指導及び資料をご提供いただきました理事の皆様には心より感謝申し上げます。

一般社団法人
日本歯科インプラント器材協議会
創立 20 周年記念誌

2022 年（令和 4）年 10 月 1 日発行
発 行 一般社団法人 日本歯科インプラント器材協議会
〒108-0014 東京都港区芝 4 丁目 7-6 芝ビルディング 704
TEL. 03-6403-7539 FAX. 03-6893-3931
<https://www.j-implant.jp>
編 集 『日本歯科インプラント器材協議会創立 20 周年記念誌』編集委員会

印刷・製本 サン美術印刷株式会社
編集協力・デザイン 株式会社キョードークリエイト